

講義コード	25468018	
担当者	桑原秀史教授	
研究題目	日本経済と経済政策—中国と欧米の経済を通して考える—	
研究内容	<p>近年、日本経済を取り巻く内外の環境は大きく変化しています。国際経済秩序は多極化に向かい、資源・エネルギー制約が強まる一方、国内的にも、人口の高齢化、経済社会の成熟化さらに情報ネットワーク化が進行しています。このような経済情勢を踏まえ、中国・アジア・欧米経済の構造調整下における日本の産業、流通および国民生活をめぐる現状と課題を考える。マクロ・ミクロの「経済政策」の点から総合的に学び、国民生活と雇用が向上するマーケティング戦略のあり方を研究する。</p> <p>ゼミ運営</p> <p>最初に基礎的な経済政策原理の復習を行うとともに、産業と国民生活に関する共通の知識をえるために、スティグリッツ『公共経済学（上）（下）』と伊藤元重『マクロ経済学』を使用します。このようなテキストによる基礎的な研究とは別に、グループごとに適宜選択した「経済政策」のテーマについて、共同研究と討論を行います。国際的なマクロ経済政策のあり方、中国と欧米、アジアの貿易摩擦と技術移転、将来の産業構造と産業組織、公共料金改革の方向、環境政策と福祉政策のあり方について検討します。</p> <p>また、魅力に富んだ、そして奥深い分野である流通システム（製造業・流通業・通信業・公益事業（電気・ガス・水道・郵便・交通・航空などインフラ部門）・金融等のトータル・システム）と産業組織のあり方を、「競争と規制の経済学」の見地から、深く学んでいただくことも重要な課題です。</p> <p>歴史を踏まえた文献講読とともに、データを利用しつつ統計解析とマーケティング・リサーチを学ぶので、情報メディア教育センターのワークステーションによる授業実習を行います。</p> <p>このことによって、日本経済の姿を総合的かつ立体的に理解することができましょう。コンパや施設見学などのイベントを通して、楽しく充実したゼミナールにしたいと思います。なお、神戸大学のゼミとディベート大会を行なっています。</p> <p>日本経済と経済政策、マーケティングに興味をもつ、活発でそして熱心な学生を期待しています。なお、選考のための書類と面接日時は説明会で連絡しますので、説明会には必ず出席して下さい。</p>	
受け入れ条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済政策の勉学に熱意のある学生 ・ 志望理由書の提出と面接への参加 	
担当者のプロフィール	専攻	経済政策
	現在の研究テーマ	流通経済と産業組織、公共政策とマーケティングの経済学
	所属学会	日本経済政策学会、American Economic Association、日本経済学会 American Marketing Association、公益事業学会